

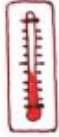




お花の栽培シリーズ「ハイビスカス」

2009年6月	水無月(みなづき)・且月(しよげつ)・無水月(みなづき)・風待月(かぜまちづき)・鳴雷月(なるかみつき)	●梅雨で雨が多い時期
<p>●梅雨でジメジメとした日が続きます。春の草花の切り戻しをして長く持たせたり、春花壇の片付けをして夏の準備を始めます。</p> <p>●雑草の多くなる時期ですので、こまめに除草をしましょう。</p>		
庭木の作業	・花の終わったアジサイやサツキの切り戻し。	
草花の作業	・春花壇を片付け、夏花壇へ模様替え ・チューリップやスイセンなど、春咲き球根を掘りあげて、保管する。	

今月の誕生花	カラー、クチナシ、バラ
今月の花	<p>アジサイ 花言葉/移り気、浮気、冷酷、自慢家、変節、あなたは冷たい</p>
	<p>ヨーロッパでは、この花をフランスの天文学者 ルジャントイルがモーチヤス島にもたらしました。そして有名な時計師の奥方であるルポート夫人の名をとって、ルポーティアと名づけることを提唱しました。しかしその島で植物の研究をしていたフランスの植物学者コンメルソンが先に、女性の名であるオンタンスという名にちなみ、ホルテンシアという名前をつけてしまいました。</p>
	<p>日本では幕末に、長崎オランダ商館にきていたドイツ人の医師シーボルトが、日本で愛した日本人遊女の名前「お滝さん」にちなんで、アジサイの中でも大輪で一番美しい品種に「オタクサ」と命名したということが知られています。</p> <p>西洋の東西に限らず、アジサイは女性にささげたくなる花なのでしょうが、花の色がだんだんに変化するところから『移り気』『浮気』という花言葉が生まれたのも、皮肉なところでは。</p> <p>一方、いちど地面に根を張ったアジサイは冬の間は枯れたように見えながら、春になると再び新芽を伸ばし、緑の葉を広げます。そして日々美しくなるために色を変え、それでも満足せずにまた色を変えます。それらは美しくなるための試行錯誤だともいわれています。</p>
	<p>原産地は日本、アジア。ユキノシタ科アジサイ属の落葉低木。樹高は1～2m程度。開花時期はほぼ周年。最盛期は2～6月。葉の形状は、鋸葉がある卵円形、対生。花色は、赤・ピンク、青・紫、白、褐色、覆輪、底白。英名ミハイドランジア (Hydrangea)。別名ハイドランジア、西洋アジサイ、シチヘンゲ、紫陽花 (和名表記) 学名 Hydrangea macrophylla、花持ちは5日程度。</p>
	<p>秋になってから使用する場合や、切り口が木質化してしまったものは水揚げが悪いので、切り口を割ったり焼いてから水揚げするようにして、深水で養いましょう。</p>

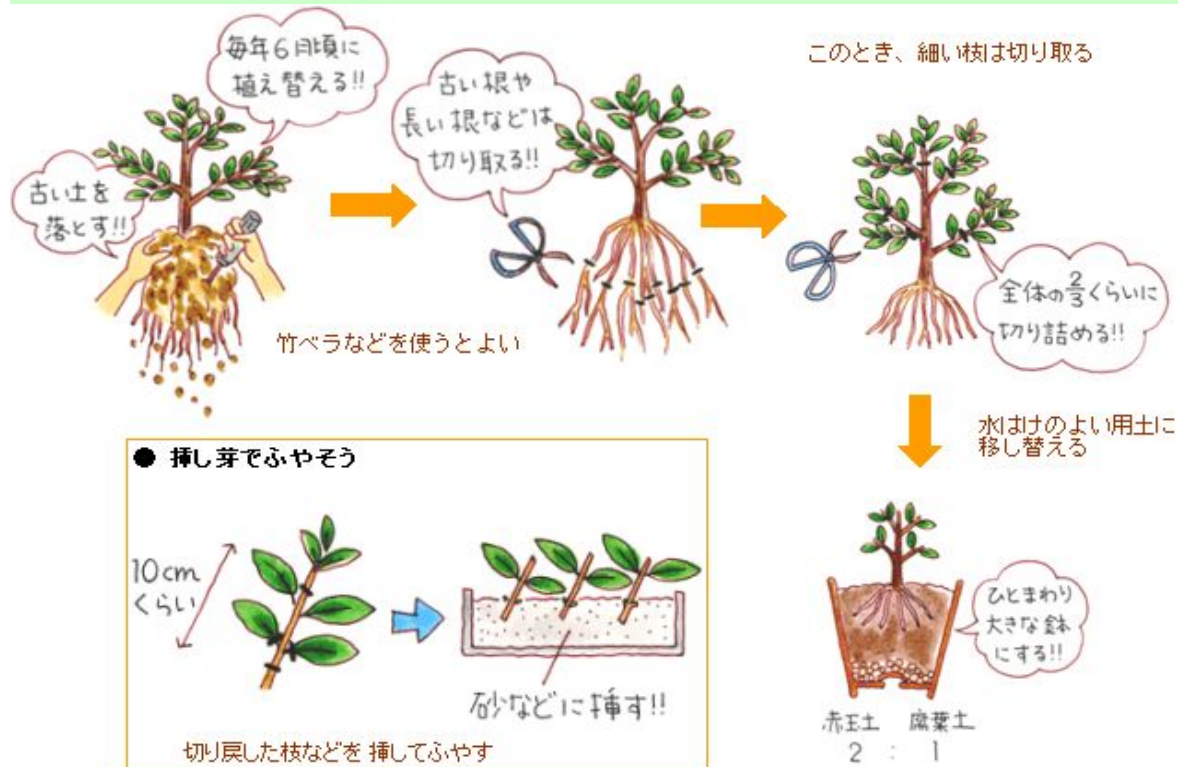


<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>過湿注意</p>	<p>気温</p>  <p>25~28℃</p>	<p>草丈</p>  <p>20~300cm</p>	<p>花色</p> 
--	--	---	---	---



ハイビスカスというと、すぐに南国のイメージが浮かんでくるほど暑い季節を代表する花です。5~11月までは、よく日の当たる風通しのよい屋外で管理します。7月中旬から8月は乾燥が激しくなるので十分に水やりをします。株全体に水がかかるように与えます。冬は室内のよく日の当たる窓辺などに置いて、乾燥気味に管理します。アブラムシだけでなく害虫の被害を受けやすいので、風通しのよい場所におき、葉裏にも十分に水をやるようにして、株を清潔に保ちます。被害を受けた場合には、早めに駆除します。生育が盛んなので、毎年植え替えをします。その時、伸びすぎた枝などを切り戻してやります。切り取った枝は、刺し木にしてふやすことができます。

● 植え替え/株分けのやり方



花が咲き終わったら…

ハイビスカスに限らず、ほかの植物でも咲き終わったあとの花を摘み取る作業はとても大切です。






線から花びらのところまでが ちょっと膨らんでいるので、すぐわかります。

その部分に爪を立てると簡単に摘み取ることができます。

もし簡単に摘み取ることができない場合には、無理せずにハサミで切りましょう。

咲き終わった花を摘み取らずに放っておくと、種のほうに養分がいきってしまい、次の花が咲かなくなってしまう。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期 											
置き場場所	屋内の日当たりのよい場所			屋外の日当たりのよい場所								
水やり	表土が乾いて1~2日たったら与える			表土が乾いたら与える(3~5日1回)			表土が乾いたら与える(1日1~2回)		表土が乾いたら与える(3~5日1回)		表土が乾いて1~2日たったら与える	
肥料	月に3~4回液肥を与える 											
害虫	 アブラムシの防除にオルトラン水和剤を散布する											
作業	植え替え  切り戻し  挿し木 